

ソフトボール平林金属クラブ



好きな気持ち大切に

【高梁市・川面小5年、坂本直埜】

僕は3年生の時からソフトボールに取り組んでいる。平林金属クラブ（岡山市）の所属で日本代表にも選ばれた井上知厚選手（25）と宇根良祐選手（23）に上達のこと聞いた。

井上選手が挙げたのは「ソフトボールを好きな気持ちは誰にも負けない」という思いを持ち、道具を大切に扱うこと。そして「しっかり寝て、生活のリズムを整えることが何より大切」だと言った。

にサッカーやバスケットボールなどさまざまなスポーツを楽しみ、体にいろいろな動きを覚えさせること。監督やコーチに言われたことでもうのみにせず、なぜそうするのか自分で考える姿勢も、壁を乗り越える力になると話してくれた。

6月にチェコで開かれた世界選手権の準優勝に貢献した2人は「世界のレベルを肌で感じる事ができた」と口をそろえた。教わったことを大切にもっと試合で活躍したい。



井上選手（中央）と宇根選手（左）はアスリートとしての大切な心構えを語ってくれた